

第11回理事会報告

日時 2024年5月2日(木) 11時~12時

会長挨拶

特になし

議題

報告事項

- 1) 4月会計報告：別紙の通り
- 2) 2024年5、6月のスケジュール：別紙の通り、6月卓話者は現在未定
- 3) 国際ロータリー為替レート：157円
- 4) 次年度事務局雇用条件：詳細別紙有り、各自内容（細則変更含め）確認し、次回審議
- 5) 会費未納者：進捗なし、付随する印刷業者の選定の見直し検討も含め次年度検討
- 6) その他：細田会員より米山奨学生の件有り

審議事項

- 1) 中川会員出席義務規定の免除：申請受理。他会員の同意あれば理事会で審議
- 2) 新入会員入会：大和証券 豊田様 前任異動に伴う実質継続。面談済にて入会予定
- 3) 細則の改定：別紙内容（委員会の名称変更、特別会員制度廃止、誤字修正）及び「クラブ奉仕委員会」を「クラブ運営委員会」に変更。6月6日総会にて決議諮る。
- 4) P.P会（元会長会）の実施：次年度に検討。別途、納め会を実施し参加募る。
- 5) その他：○新倉元会員逝去 弔電及び生花

出すこと了承。またクラブ旗もご遺族の意向あるも、掲げることで手配予定。

- 今後クラブ旗の位置付けや使用目的等は要検討。
- ビジターフィーについて1回目は無料。

5月2日 例会スナップ



Rotary 東京池袋豊島東ロータリークラブ

第32回例会 3042回 2024.5/9

Weekly Report

Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima-East



会長:里見雅行 幹事:石塚文晴 RI会長:ゴードンR.マッキナリー 第2580地区ガバナー:栃木一夫

RI2023-2024年度テーマ



世界に希望を生み出そう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実か どうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるか どうか

【珠玉のことば】

時の心にならぬのみよしとおもふは。
其の主の愚かなる也
(賀茂真淵『国意考』)

いつの時代でも、時流に乗った生き方を志向する人々があります。しかし、何の信念も、変化に対応する準備も危機感も持たなければ、ただ時代に翻弄されるだけです。国学者の真淵は、日本人としてのアイデンティティを持ち、時代の変化に対応できる力を持つことが重要だと言うのです。

本日の例会

5月9日(木) 12:30~13:30

卓話：「日本初 共用品 世界へ」

卓話者：星川 安之様 公益財団法人 共用品推進機構 事務局長・専務理事

紹介者：長尾 益男会員

次回の例会

4クラブ合同例会

5月17日(金)

第1部 12:30~14:00

卓話：『元気で人生を積極的に生きるために』
チャック・ウィルソン様
フィットネスインストラクター・
タレント

第2部 14:10~15:00

交流会 入会10年未満の会員の皆様



5月お誕生日
鈴木会員・稲川会員・森川会員・米山会員

5月2日 例会報告

司会 小代会員

開会点鐘 里見会長

ロータリーソング

ソングリーダー 榊原会員

☆会員総数 34名

☆出席規定適用者数 26名

- ★本日の出席者総数 24名
- ★〃 免除者出席数 5名
- ★本日の出席率 77.41%

☆本日のゲスト

- 豊澤 大夢様 東京池袋豊島東ローターアクトクラブ会長
- 大野 匡也様 再入会員候補者/旧豊島東RC元会員
- 李 非特様 RAC新入会員候補者
- 李 峯様 お父様

ニコニコ

- 石塚会員 小林会員より写真を頂きました。いつもありがとうございます。
- 鈴木会員 誕生祝いをいただきました。28日5日は結構記念日になります。82才で56年目です。Thank You.
- 森川会員 誕生日お祝いありがとうございました。74才になりました。
- 小代会員 3月の誕生日祝ありがとうございました。
- 野口会員 小林征夫会員、Aグループの写真ありがとうございます。RACに李非特君を紹介したいと思えます。イギリスに本校がある、ラグビー校の日本校の1年生であります。父親の李峯さんも素晴らしい方です。宜しく願い申し上げます。
- 米山会員 お祝いしていただきありがとうございます。今後ご指導の程、よろしくお願い致します。
- HM Bグループ参加者 ホームミーティング会費のおつりです。

本日の合計額：34,000円
 今年度ニコニコ累計額：628,700円
 今年度指定ニコニコ累計：27,500円

会長報告

1. 旧豊島東RC会員の新倉康榮氏が4月26日に逝去（92歳）

- 齋場に当RCのクラブ旗を設置させていただく
- 2. 台北東海ロータリークラブ創立29周年記念式典
 4月26日(金) 台北市内のグランドヴィクトリアホテルで開催
 佐藤(美) 会員、廣内会員とともに3名で出席
 友好クラブの赤坂RC、福岡西RCも参加
 日台交流協会、台日親善会等の来賓挨拶
 里見が挨拶するとともに、地震の見舞金をお渡し
 神楽の舞、和太鼓など多くのエンターテイメント
 前日25日には盛大な交流会

幹事報告

1. 国際ロータリー為替レートを発表（2024年5月） 1.00ドル当たり 157円
2. 5月17日(金)は合同例会となりますので、5月16日(休)通常例会はございませんので、会員の皆様におかれましてはご確認お願い致します。

5月2日 卓話報告-1

『青少年交換』の始まり

2024年5月2日
 青少年奉仕活動 クラブ協議会にて
 鈴木孝雄パストガバナー



鈴木孝雄PG 青少年交流の始まり

ロータリーの青少年交換 (Rotary Youth Exchange) 国際理解と親善の精神を育み、平和を推進するため、15歳～19歳の青少年に、外国での異文化

でおり、赤坂RCの国際奉仕委員長の出川夫妻も参加される事となりました。

写真も沢山撮りました。メトロポリタンホテルを10時に出発してジュフンのランタン上げとジュフン滝の見学です。

ランタン上げまでは曇り、滝まで行くとシトシトと小雨がふり傘をさしての観光となりました。台北に着く頃には、晴れ間も見え台北101の外観の観光をして帰路につきました。

なんせその夜は本会議の記念祝典です。18時からの開催でしたが昨年同様の会場とのことでした。

皆様正装して、祝典に集合です。バンド演奏やお神楽また太鼓、そしてサクソホン演奏等様々なイベントがありました。

また花蓮地震のお見舞い金の贈呈、日本からのお土産を渡す折には我がクラブの里見会長のスピーチがありました。

印象に残る言葉は、台北東海RCから日本に帰国される方は是非当池袋豊島東RCへお越し下さい、というお誘いでした。

本会議祝賀会でもビールや赤ワインを片手に親睦を深め、沢山の記念写真を撮りました。

赤坂RCの出川会員（今回は自クラブの行事と重なり参加者が少なかったとの事）も我々の隣席におり、楽しい思い出を共有しました。

里見会長と私には、2泊3日という短い日程の訪問ではありましたが、しっかり友好クラブと交流ができ目的を達成できました。

さらに次年度は、台北東海RC 30周年記念祝典とのことで我々クラブからも沢山の参加が期待されます。

皆様、よろしくお願いいたします。
 親睦副委員長 佐藤美枝子



台北東海RC創立29周年記念式典出席者
 廣内会員・里見会長・佐藤(美) 会員



李明勳KAORU会長エレクト・林育徳 MARK2022-23会長



台湾東部地震見舞金贈呈 蔡鴻賢 EASTERN JR会長へ

ホームミーティング・Bグループ 報告書

ホスト：稲川 一 コホスト：高木義男
出席者：佐藤久雄、長尾益男、山本伸也、横山晴夫、
吉田武輝

- テーマ①我クラブでは良き伝統を尊重し継承されているか
②会員増強につながる我クラブの魅力とは何だろうか

Bグループのホームミーティングは4月26日(金)ホテルメトロポリタン地下1階ステーキハウス「山海亭」にて18時より開催されました。

台北東海R Cの周年行事や、ゴールデンウィーク直前という日程にもかかわらず、出席者7名の会員が集まり与えられたテーマについて意見を交わしました。

テーマの中でクラブの良き伝統の継承は、合併後間もなく3年目に入るクラブなので毎年の運営努力によって次第にお互いが尊重し合えるようになるはずですが、例会出席率の低下はR Iのメーキャップ期間変更の解釈が多少原因となっていると思われるものの、入会を考える人にとっては厳しい出席義務があるよりも前向きに入会する要因になるという意見も見られました。

また、会員増強につながるクラブの魅力については各クラブの共通した課題であるため時間をかけた意見交換が必要ですが、他の奉仕団体を見ると30代後半から50代前半の会員が増えているところもあり、社会のためになりたい気持ちを持っている人たちがたくさんいることが分かります。

しかし、増強のためにその人材を獲得するには他団体との年会費等の費用格差を把握し検討することが必要な時にきているという意見がありました。

意見交換は20時を過ぎるまで行われましたが、その間ワイン片手にステーキを頬張りながら和やかに意見交換することができました。

以上



台北東海29周年報告

台北東海ロータリークラブ29周年記念式典に参加して

去る4月26日金曜日、台北東海R Cの29周年周年記念式典が台北ランドヴィクトリアホテルにて18時から開催されました。

当クラブからは、里見会長・廣内職業奉仕委員長そして私の3人の参加でした。

通年、前夜祭と称して本会議の前夜に歓迎会が催されます。

今回も当クラブと赤坂R Cの歓迎の夕食会が、台北メトロポリタンホテルから歩いて10分ほどの台湾海鮮料理の店で18時半から開催されました。

前回は福岡西R Cのメンバーも参加しておりましたが、今回は26日の本会議の当日到着とすることで参加メンバーは我々3人を含めて20人ほどでした。(26日には31名が福岡からやってきました)

丸テーブル2つを囲んで、日本からの会員の席がばらけるように座りました。

海鮮料理を囲んで、ビール・赤ワインをまた口をゆがめて高粱酒などをいただきました。

この高粱酒は水のように透き通っているのにアルコール濃度は40%越えという、かなり強いお酒でした。

途中から席の移動がはじまり、昔話(豊島東R C時代の30周年記念祝賀会のイベントや二次会でのダンスなど)に花が咲き2つのクラブが否、赤坂R Cの会員も含めて楽しく時間が過ぎていきました。

26日の日中は当クラブでは観光の予定を組ん

体験の機会を提供するロータリーのプログラム。言語や文化を学びながら、海外に友人を作り、世界市民としての自覚を養う。

R I国際大会in東京1961年5月31日(4日目)の国際親善会議アジア部会での、Donald N Farquhar(愛称 ドン)(オーストラリア・ローズバッドR C)元会長のスピーチでした。

「私はある使命を帯びてこの大会に参加しています。それは我が地区RID280のP D Gジョーブラッドリーの要請により、国際親善のために日本の高校生を私のクラブに一年間派遣していただけないかということです。

ジョーブラッドリーは1959年に日本の12地区のGに向け、学生交換の提案書を送りましたが上手くいかなかった。そこで私を派遣したのです。それとは別に、私は日本に特別な感懐を持っています。かつて戦争で戦った日本という国はどんな国なのか、どのような人々が暮らしているのか知りたくて東京にきました。そして、いつでもどこでも親切にしてもらいました。

それは些細な事かも知れませんが、国際親善の根本になるのは、このような些細な行動の積み重ねだと思えます。私は日本人を恨んではおりません。戦争は政府と政府との争いであって、お互い一人一人の間に憎しみはないと思っています。

実は、私は全盲です。生まれつきではありません。オーストラリア空軍の兵士として日本軍との戦いで目を負傷したのが原因で光を失いました。1942年9月22日、ラバウル上空で出来事です。29歳の時でした。退院するまでに、一年半の時間が必要でした。

私は随分苦しみました。当時、光を失った苦悩と絶望、そして肉体的な苦しみの渦の中では、『新しい信仰が私に訪れる』と誰かが言ってくれたとしても、それを受け入れることはできなかったでしょう。それでも、その後の数年間を耐えるうちに、おそらく視覚のある人よりももっと鋭く、様々なことを感じらせることを発見しました。そして、真の人間の価値を分析するようになりました。愚かな戦争で得た遺産は失明のみでしたが、敵意があっては何も達成できない。よりよい世界にする唯一の方法は、過去を許し、忘れることだと悟ったのです。そして、ゆっくりと、私の心と魂の苦悩は、人生への新しい信仰、人生を生きる価値の

あるものにするための新しい希望に代わっていきました。」

使命を帯びての来日とはいえ、ドンの心にわかまるものが全くなかったといえば、そうは思えません。しかし、来日したドンは、殊に福島県・白河R Cの大木大吉会員の令嬢千恵子さんの心からの親切に感激し、親善のために努力することを決意し、帰国後も、各地で四十数回にわたって「日本人の友情」について講演して回ったとのことでした。

この日、ドンの話を聞いたR I D370(九州全県と山口県)の松本兼二郎GEが同席されており、その話に感動を覚えました。他の参加者も同様の感銘を受けたはずでした。

ガバナー年度を迎えた松本Gは、オーストラリアからの要請に応じて、1962年1月日本からの最初の青少年交換留学生、関本洋子さん(旧姓・宮崎、ホストクラブ・久留米R C)をメルボルンへ2月にはシドニーへ8名の9名を派遣しました。一方、オーストラリアのシドニーからは1963年5月ケニス・ノーマン・エンジェル君が来日し、熊本R Cがホストをして、九州学院高校へ通いました。ここに日豪の青少年交換が出来上がったのです。

そして日本からの第1号の派遣学生となった関本さんについて、松本氏はドンからの手紙の一部を『ロータリーの友』1962年4月号で次のように紹介しています。

「洋子は、私共が日本で会った立派なお嬢さんたちの典型ともいえるべき資質を持っています。それは「魅力と優雅」です。そしてそれは精神的資質と言ってもよいほどの内面美です。彼女は帰国からの親善大使として素晴らしい資格をすでに示し始めています。正直なところ兼君(松本氏)、私共はすっかり彼女が好きになってしまって、お別れしなければならぬ時が来たら、さぞ悲しいことだろうと思います。」

松本氏はこの親善の成果の表れを、「涙のこぼれるほど嬉しく思います」として、寄稿文を結んでいます。

実は関本さんが派遣された当時、戦後17年が経っていたとはいえ、かつての敵国・日本を嫌悪する感情がオーストラリア各地に少なからずくすぶっていました。

そのことを示す記事として、ドンの子アランは後に、シドニー・モーニング・ヘラルド紙(2012年2月6日付)に次のように寄稿しています。

「1961年、父は戦後東京で開催された最初の国際ロータリー会議の一つに行くことを決心しました。クラブの彼の親しい友人の多くは、彼に行かないように話そうとしました。ロータリアンが、このような地獄の出来事からわずか15年後にこれをおこなう必要があると判断するのは、並外れたことでした。

そして、まだ白豪主義があったことを忘れてください。だれもがそれを望んでいたわけではありませんが、彼女(洋子さん)が到着した瞬間から、彼女の性格によって否定性が一掃されました。」

日本から派遣された一人の女子高校生は、ごく限られた地域とはいえ、日本と日本人に対する気持ちに変化を与えたようです。親善へとつながる「ひとしづく」がここに生まれ、それが今日まで、波紋のように広がっています。

それをもたらしたのは、ドンの「寛容と勇気」です。我々は、この事実を胸に刻み、継承していかなければなりません。ロータリーの青少年交換は、「未来の平和」へとつながっているのです。

5月2日 卓話報告-2



卓話者 東京池袋豊島東RAC豊澤大夢会長

Rotaract Club of Tokyo Ikebukuro Toshima-East

PITCH DECK

東京池袋豊島東RAC 概況及び活動について



氏名 豊澤 大夢 (Toyosawa Hiromu)
出身 滋賀県

所属 東京池袋豊島東ローターアクトクラブ
役職 会長
入会年度 2022年8月
年齢 27歳
職業 チェスコ株式会社
趣味 アメフト・料理

【ロータリー歴】
2013-2015 京都東山高等学校インターアクトクラブ (第2650地区) (チャーターメンバー)
2019-2022 徳島ローターアクトクラブ (第2670地区) 地区幹事および会長
2021 1月 インドでのNID (ポリオワクチン投与活動) に参加。
2019- RYLA学友会 (第2670・2680地区)
2022- 東京池袋豊島東ローターアクトクラブ 2023-会長

クラブ概況

クラブターゲット Huddle 	例会日 例会場 第二・第四土曜日 豊島区公共施設 他	会員数 28名
--	---	-------------------

ピックアップ例会

グリーンバード合同 池袋清掃例会

2023年11月11日 (土)

認定NPO法人 グリーンバード様と合同




ピックアップ例会

グリーンバード合同 池袋清掃例会

2023年11月11日 (土)

認定NPO法人 グリーンバード様と合同



ピックアップ例会

複数地区・クラブ 合同研修会

2024年2月10日~11日

- 19地区42クラブ 140名以上
- もっと自発的に
- もっと運営者と体験者が近い距離で
- もっとアクティブでない会員にも



ピックアップ例会

献血例会

2024年4月13日 (土)

日本赤十字様と合同



次年度役員紹介

<p>会長</p>  <p>小林 大心 入会：2023年1月 年齢：22歳 勤務先：宮内庁 RAC役職歴：なし</p>	<p>幹事</p>  <p>佐野 風摩 入会：2019年8月 年齢：25歳 勤務先：投資会社 RAC役職歴：会長、50周年実行委員長</p>	<p>直前会長</p>  <p>豊澤 大夢 入会：2022年7月 年齢：27歳 勤務先：専門商社 RAC役職歴：会長、2670地区RA地区幹事</p>
--	---	--